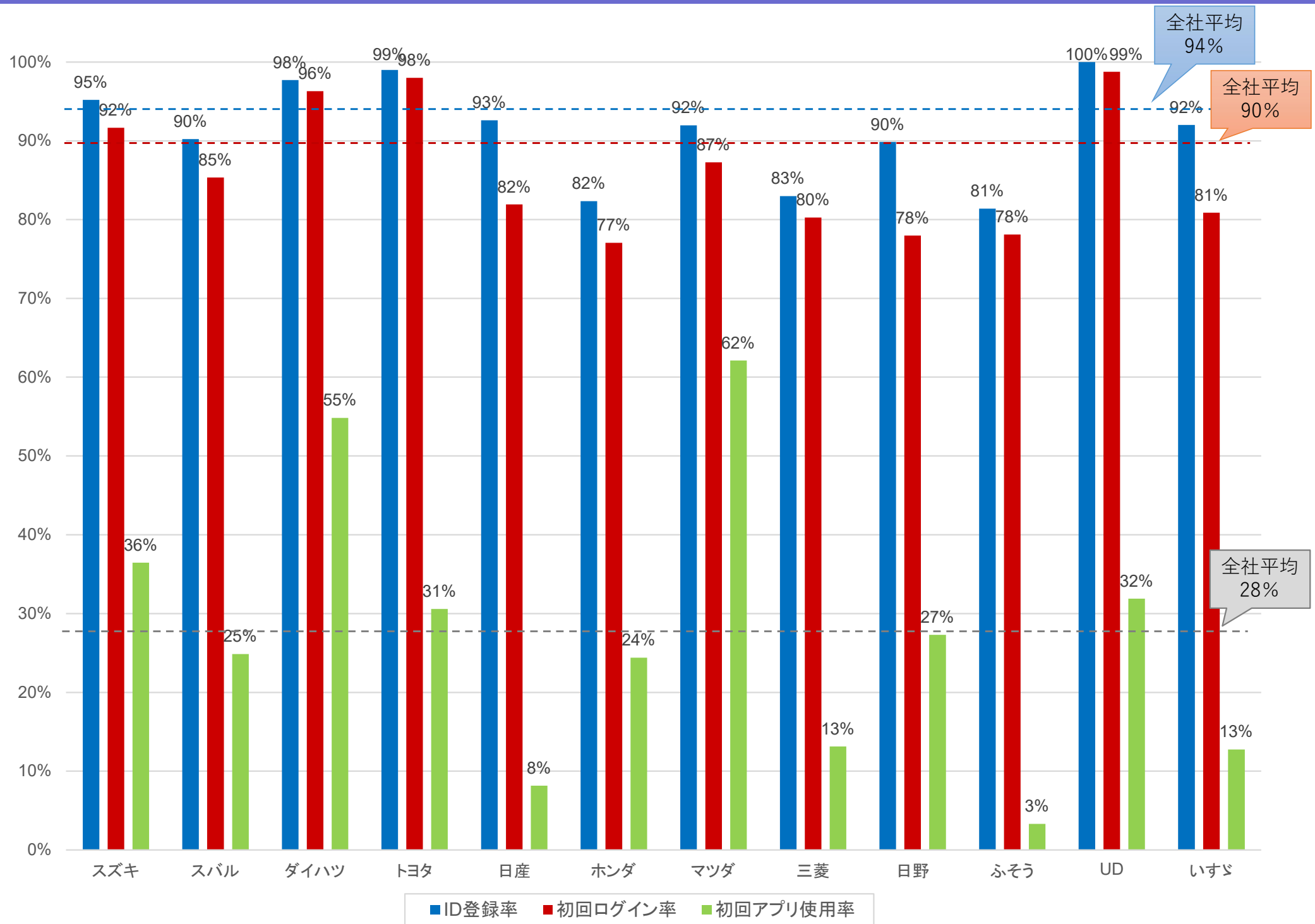


メーカー系列販売店の準備状況

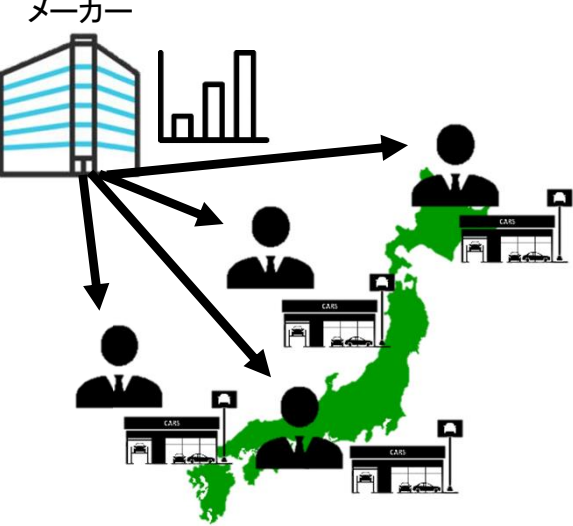
メーカー系列販売店(指定工場)の準備状況(令和6年4月30日時点)



<プレ運用中の「初回アプリ使用率100%」に向けて>

- ・現在、「プレ運用中での早期トライ実施」の意識が薄れぬよう、書簡でのフォロー案内に加えて、主に下記の対応を各メーカーで実施中

<主な対応例>

①全国販売店へ書簡依頼	②販売店会議や研修で説明 (web含む)	③地域担当スタッフが 販売店訪問時にフォロー
販売店とのイントラネット等で役員や実務者へ制度概要の説明含め、早期対応を依頼(既に複数回実施)  The diagram illustrates a manufacturer (represented by a blue building icon) sending documents (represented by a document icon) to multiple car dealerships (represented by car icons) across the map of Japan. Arrows indicate the flow of information from the manufacturer to the dealerships.	各地域での会議や研修会で説明。販売店間でも進捗状況を共有(随時)  The diagram shows a manufacturer (blue building icon) participating in a meeting or training session (represented by a group of people around a table) with car dealerships (car icons). A computer monitor displaying a video conference is also shown, indicating that the session can be conducted online. Arrows indicate the flow of information between the manufacturer and the dealerships.	メーカーの地域担当スタッフが訪問した際に、フォローと状況を直接確認(毎月)  The diagram shows a manufacturer (blue building icon) with a regional staff member (represented by a person icon) visiting multiple car dealerships (car icons) across the map of Japan. Arrows indicate the flow of information from the manufacturer's staff to the dealerships.

- ・各メーカーの動き(フォローの手法、具体的な動き方)は、自工会内でも随時共有し、進捗の良いメーカーの動きは参考にし、必要に応じて対応を見直し(継続中)

＜「初回アプリ使用率」の目標指標について＞

- ・販売店本社に対して、アプリを早期に使用していただきたい旨の案内を全メーカー実施済み
- ・システムおよびアプリ導入状況がメーカー毎で異なるため、目標指標は個別に設定
- ・年末、年度末の繁忙期後の4月から順次、使用率は上がっていく見込み

＜各メーカーの目標指標＞

パターン	該当メーカー	目標指標 (%)			理由
		6月末	8月末	9月末	
①	スズキ ホンダ マツダ	100	-	-	・OBD検査認定済みのVCIは問題なく導入できる見込み、または導入済み ・販売店への定期的なフォローによりアプリ使用率は上がっていく見込み
②	スバル ダイハツ トヨタ 日野 UD	80	100	-	・OBD検査認定済みのVCIは問題なく導入できる見込み、または導入済み ・定期的なフォローによりアプリ使用率は上がっていく見込みだが、下記の点等から①と比較すると進捗は一步遅れる 1) 一部店舗でアプリが上手くインストールできない課題（個別案件）の対応中 2) 予算の確保を含め、不足分のPC、VCIの準備に時間が必要
③	日産	55	100	-	・OBD検査認定済みのVCIを導入予定（メーカー純正VCIとは別製品） ・予算確保の都合上、4月以降に発注し随時「OBD確認」を実施するが、調達完了が夏以降の予定のため、7月以降に使用率が上がっていく見込み
	ふそう	70	100	-	
	三菱 いすゞ	70	-	100	

➡ 上記の通りメーカー毎で状況は異なるが、「プレ運用中での早期トライ実施」の意識が薄れぬようフォロー案内の頻度を増やす等、状況に合わせて対応する